

公衆衛生看護学実習

責任者・コーディネーター	地域包括ケア講座 岩渕 光子 教授		
担当講座・学科(分野)	地域包括ケア講座		
対象学年	4	区分・時間数	実習 112.5 時間
期 間	後期		
単 位 数	3 単位		

・学修方針（講義概要等）

保健所および市町村等の業務に参加・見学し、地域住民に対する保健活動を学ぶ。地域特性や住民のニーズに対応した保健師活動の展開、行政における保健師の役割や機能について学修する。具体的には地域の健康課題を把握するための情報収集を行い、地域の健康課題をとらえる方法を学修し、地域保健活動としての家庭訪問、健康相談、健康教育およびグループ支援などの実際を体験または見学することで、地域保健活動の機能を理解する。地域保健事業の法的根拠と事業の実施そして予算の確保について学び、保健所等の組織としての機能について学修する。

・教育成果（アウトカム）

保健所、市町村、事業所、学校での保健活動を体験することにより、地域住民に対する市町村等の組織や制度が理解できる。また、地域住民の健康課題と保健事業の関連を理解し、地域における看護職の機能・役割を説明することができる。

【学位授与方針と当該授業科目との関連】

ディプロマポリシー：1.2.3.4.5.6.7.8.

・到達目標（SBO）

- 1.保健所、市町村、学校保健、産業保健の場の組織体制・役割・機能を説明できる。
- 2.個人、家族、集団、地域を対象とした保健活動の展開過程（家庭訪問・健康教育・健康相談・健康診断・地区活動等）を説明できる。
- 3.PDCA サイクルを踏まえた実習地域のアセスメントを通して、地域の健康課題と保健事業を関連づけて説明できる。
- 4.健康危機管理に対する平常時から危機発生時の対応、事後対応について説明できる。
- 5.産業保健の場における保健活動の実際を理解し、労働者の健康課題に対する保健師の役割を説明できる。
- 6.学校保健の場における保健活動の実際を理解し、児童・生徒の健康課題に対する養護教諭の役割を説明できる。

7.地域に暮らす人々の健康の保持・増進のために、住民、学校、事業所、行政がどのようにつながりを持って保健活動を行っていけば良いか考えることができる。

・授業日程

【実習】

日程	講座(学科)/担当教員	授業内容/到達目標
8/7(月)~9/14(木) ※うち3週間	地域包括ケア講座 岩淵 光子 教授 藤原 弥生 助教 松岡 真紀子 助教 藤澤 純子 助教 赤井 純子 助教	※詳細は実習要項に記載する。

・教科書・参考書等

教：教科書 参：参考書 推：推薦図書

	書籍名	著者名	発行所	発行年
教	公衆衛生マニュアル 2022	柳川 洋 他編	南山堂	2022
教	国民衛生の動向 2021/2022	厚生労働統計協会 編	厚生労働統計協会	2021
教	標準保健師講座1 公衆衛生看護概論 第6版	標 美奈子 他	医学書院	2022
教	標準保健師講座2 公衆衛生看護技術 第4版	中村裕美子 他	医学書院	2020
教	標準保健師講座3 対象別公衆衛生看護活動 第4版	松田 正巳 他	医学書院	2018
教	標準保健師講座別巻1 保健医療福祉行政論 第5版	藤内 修二 他	医学書院	2021

・成績評価方法

公衆衛生看護学実習要項に示す公衆衛生看護学実習評価表に基づき評価する。

・特記事項・その他

【事前事後学修の具体的内容及び時間】

事前学修として、実習要項の目標が達成されるよう、事前学修課題を中心に教科書・配布資料・ノート等で十分復習して臨むこと。市町村実習においては、実習前に担当教員と協議しながら、健康教育の教材研究・教育媒体づくりを進めること。実習中は、毎日、実習記録（実習日誌・自己学習ノート・その他必要な記録様式）に記載すること。その日の振り返りと今後の実習内容を見通し予習を行う。これらの事前事後学修時間は、毎日最低60分以上を要する。

実習記録の様式はWebClassに掲載するので、用紙は不足する場合は適宜ダウンロードして印刷すること。

【レポート等の課題に対するフィードバック】

実習記録は、毎日コメントを伝え学生にフィードバックする。

【保健師助産師看護師学校養成所指定規則教育内容】

保健師（別表1）：臨地実習（公衆衛生看護学実習 公衆衛生看護活動展開論実習 公衆衛生看護管理論実習）

・授業に使用する機器・器具と使用目的

使用区分	機器・器具の名称	台数	使用目的
実習要項に記載する。			